

まちづくり交付金 事後評価シート  
旧街道周辺地区

平成20年10月

秋田県大仙市

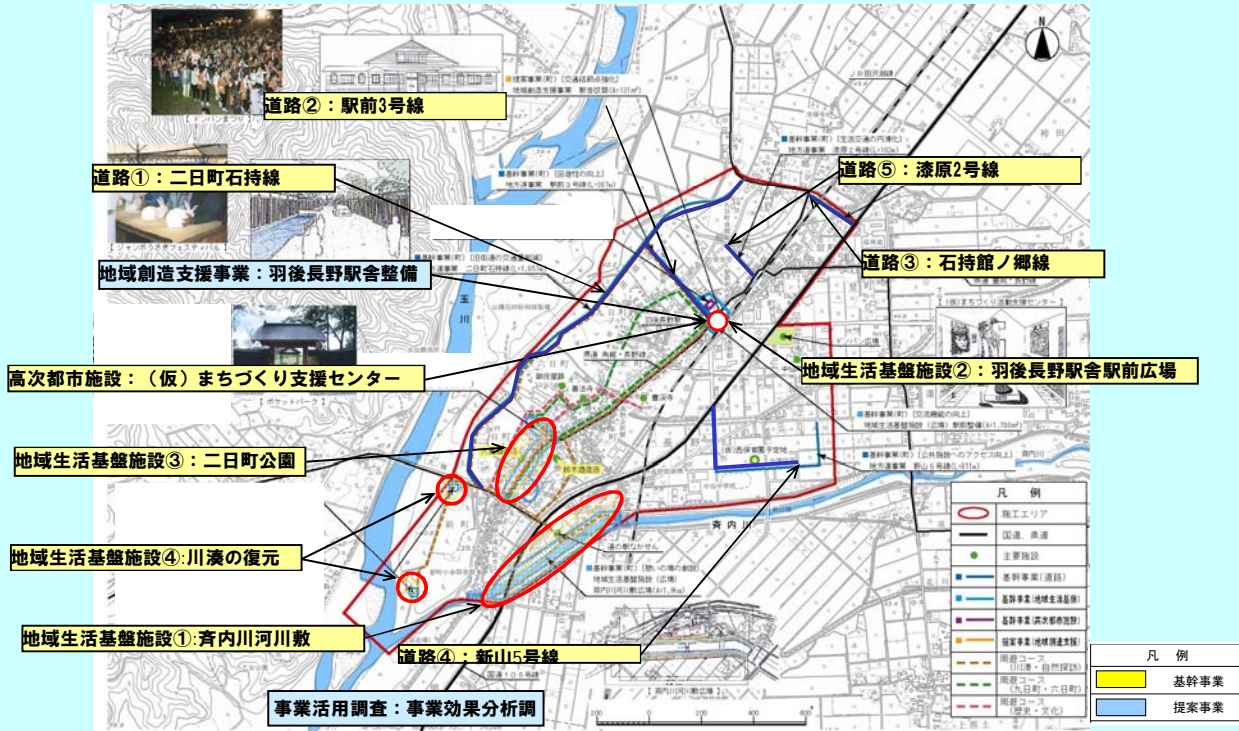
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	秋田県		市町村名	大仙市(旧中仙町)		地区名	旧街道周辺地区			面積	166.0ha		
交付期間	平成16年度～平成20年度		事後評価実施時期	平成20年8月～平成20年12月		交付対象事業費	1,170	国費率	0.4				
当初計画に位置づけ、実施した事業 当初計画から削除した事業 新たに追加した事業 交付期間の変更	基幹事業	市道(5路線)、地域生活基盤施設(二日町公園、駅前広場、斉内川河川敷広場、川湊の復元(情報板))、高次都市施設((仮)まちづくり支援センター)											
	提案事業	地域創造支援事業(羽後長野駅(駅舎)整備)											
	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	二日町公園	事業中止	観光客入込数の指標に関係あり。数値目標は修正しない。								
		基幹事業	川湊の復元(情報板)	事業中止	観光客入込数の指標に関係あり。数値目標は修正しない。								
		提案事業	(仮)まちづくり活動支援センター	事業中止	観光客入込数の指標に関係あり。数値目標は修正しない。								
	新たに追加した事業	基幹事業											
		提案事業	事業効果分析調査	平成19年に計画変更して事業効果分析調査の業務委託	-								
	交付期間の変更	当初	平成16年度～平成20年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	数値	目標値	モニタリング	評価値	目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
			基準年度	目標年度									
	指標1	二日町方面からの交通量	台/12H	1,058	H14	845	H20	966	800	○	あり ● なし	二日町石持線や駅前3号線等により、旧街道(県道角館長野線)の通過交通量が減少しており、旧街道の歩行者の安全性が向上している。それにより、歩行者の回遊性が高まった。	H21年10月
	指標2	観光客入込数	人/年	190,000	H14	230,000	H20	-	169,036	×	あり ● なし	近年の観光客入込数は概ね同様に推移しており、道路の整備による効果だけでは、観光客入込数を増加させるには至らなかった。	H21年12月
指標3	駅利用者数	人/年	14,000	H14	15,500	H20	-	7,335	×	あり ● なし	年々駅利用者は減少しており、道路整備等による効果だけでは、駅利用者を増加させるには至らなかった。	H22年3月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	羽後長野駅周辺整備満足度	%	20.3	H20				77.0			羽後長野駅舎及び駅前広場の整備により、当該駅の利用者の満足度は増加し、整備効果が得られた。	H21年9月
	その他の数値指標2												
	4) 定性的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング	交付期間中に事業を円滑に進めるため、庁内にまちづくり事業調整組織として平成15年12月から「まちづくり支援室」を設置している。また、事業の進捗状況を年2回ほど広報する予定である。この計画の策定に当たり組織した「まちづくり懇談会」と協働して事業の進め方や改善点等を協議する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	引き続き、駅前活性化委員会と行政協力員会にて、定期的に意見交換などを行う。						
	住民参加プロセス	同上	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	引き続き、駅前活性化委員会と行政協力員会にて、定期的に意見交換などを行う。						
	持続的なまちづくり体制の構築	・旧街道周辺地区の景観保全整備については、引き続き随時町で支援する。また、「まちづくり条例」に基づいて後援の管理等積極的な自治会(二日町内会)活動を期待する。 ・長野駅前活性化推進委員会からは、駅周辺の維持管理等(清掃活動等)申し入れがあるので積極的な活動を支援する。	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	駅前活性化委員会から中仙地域協議会への機能を移行し、引き続き持続的なまちづくり体制を維持し、意見交換等を行う。						

## 様式2-2 地区の概要

### 旧街道周辺地区(秋田県大仙市(旧中仙町)) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標：旧街道の街並み保存と交通結節点の整備改善による、観光振興を目的とした地域づくり 目標1：旧街道の街並み保存と安全な歩行空間の確保を図る。 目標2：交通結節点としてのJR駅舎の機能を充実させることにより利便性の向上を図り、駅前広場との一体整備することで 中心市街地の賑わいを再生する。 目標3：歴史資源等を活かした魅力ネットワーク(観光周遊コース)の設定による滞留型観により集客数の増加を目指す。	二日町方面からの交通量	単位:台/12h	1,058 H14	845 H20	800 H20
	観光客入込数	単位:人/年	190,000 H14	230,000 H20	169,036 H20
	駅利用者数	単位:人/年	14,000 H14	15,500 H20	7,335 H20
	羽後長野駅周辺整備満足度	単位:%	20.3 H20	50 H20	77.0 H20
		単位:	H	H	H



#### まちの課題の変化

- ・二日町石持線の整備により、旧街道の通過交通量は減少し、歩行者の安全性は向上した。
- ・駅利用者数の数値目標には達しなかったが、駅舎整備により、交通結節点としての機能や駅利用者満足度は向上した。

#### 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・旧街道は依然として道路幅員は狭小であるため、歩行者の安全性の確保のための対策(歩道整備、一方通行化)が引き続き必要である。
- ・二日町公園の事業休止により、黒板塀の新設ができなくなったが、今後は民間での事業化を見据えつつ、保全・新設を推進し、旧街道沿いに残る歴史のある町並み保存と景観向上を図る必要がある。
- ・駅前広場の規模縮小や(仮)まちづくり支援センターの事業休止等により、十分な効果が得られなかったため、今後もJR羽後長野駅の観光情報提供の場としての位置づけを高めていく必要がある。
- ・回遊性は向上したものの、各拠点と道路の連携が十分ではないため、道路の位置づけを高める工夫が必要である。
- ・駅舎整備により、車で駅にアクセスする人が増加したが、短時間駐車等のスペースの整備も不十分であり、路上駐車が増加したため、車でのアクセス需要に対する対策が必要である。